

事務事業名	市外火葬場利用支援事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	経常	開始	終了
H29作成課等名	環境課	H29係等名	環境衛生係	H28担当課等名	環境課	
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			
	施策	45	居住基盤の向上			
目的	対象(誰・何を)	飯田市民であって亡くなられた方で飯田市斎苑を使用できなかった人			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	飯田市民で亡くなられた時、市外の火葬場を利用した場合に公平な費用で葬儀ができる			対象指標	飯田市斎苑を使用できなかった人数(当該事業の申請者数) 75
	向上させたい上位施策の成果指標	居住の満足度				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	補助金を受けた人数/飯田市斎苑を使用できなかった人数(当該事業の申請者数)(%)		100	100	100
	定性目標					
事業概要	飯田市内に住んでいる方が亡くなられ、火葬を行う場合、飯田市斎苑を利用していただくのが本来だが、火葬場が埋まっており、近隣3火葬場(阿南斎場、西部衛生センター火葬場、下伊那北部火葬場)を使用した場合に、使用料の差額の内一部を補助する。(平成29年4月から制度変更。遠山郷地区民が阿南斎場利用の場合のみに変更)					
28年度事業内容	事業内容			名称	活動指標	
	1 飯田市民が他の斎場で茶毘に付された場合、申請により、斎苑使用料の差額を助成する。 ・遠山郷地区民が阿南斎場で火葬した場合39,000円補助 ・他は西部、北部、阿南各火葬場を使用したときのみ、20,000円補助(H29.3.31まで)			1 助成件数	1 75件	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		3,569	2,800	2,083	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		3,569	2,800	2,083		
人件費計(千円)②		0	0	0	0	
正規職員所要時間						
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		3,569	2,800	2,083	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	申請者に差額を助成することができた。					
改革改善の考え方	①問題点	遠山郷地区民以外が市外火葬場を利用する際の補助金が平成29年度から無くなり、飯田市斎苑に市内利用者が集中する可能性がある。				
	②改革提案	平成28年7月から下伊那北部斎場が稼働を始めたため、飯田市斎苑の市外利用者は少なくなり、市内利用者の希望には対応できる見込みである。当面は利用希望の動向を注視していく。				